

再開!



5月2日から連休中も中央館図書館1階のラーニングcommonsを開放しました。



中央館玄関

壁のひび割れが発生しましたが、ガラスは1枚も割れず耐震工事後の建物は無事でした。



6月1日から通常開館再開しました!

まだ一部利用できないところもあります



貴重資料

被害は一切ありませんでした。

第9回東光原文学賞募集要項

- 応募対象：熊本大学学生（大学院生、留学生を含む）
- ジャンル：小説（日本語）
- 応募詳細：応募原稿は未発表作品に限る（同人誌などですでに発表したものは対象外）
原稿は、A4版横長用紙にタテ書き、1ページ30字×40行、10～20枚（400字詰め原稿用紙30～60枚相当）以内。11ポイント MS明朝体で印字。通し番号（ページ番号）を入れる。
1枚目にタイトル、氏名（ペンネームも可）を明記。
原稿の末尾に、住所、電話番号、メールアドレス、氏名（本名）、学部・学科、学年を付記。
個人情報、文学賞に関する連絡以外に使用しません。応募原稿は返却しません。
受賞作品の著作権は、主催者である熊本大学附属図書館に帰属します。
- 締め切り：平成28年11月7日（月）17時必着
- 応募方法：①～③のいずれかで応募。
①電子メール 原稿ファイルを添付しアドレス：bungaku@lib.kumamoto-u.ac.jpへ送信
②郵送 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
熊本大学附属図書館「東光原文学賞」宛（封筒に「東光原文学賞」応募」と朱書）
③直接図書館へ持参 平日9時から17時までに附属図書館（中央館）サービスカウンター
*②③は用紙の右肩を綴じてください。また、原稿（電子）ファイルの提出もお願いします。
- 審査員：本学教員等3名
- 表彰：大賞1編 表彰状及び副賞 図書カード20万円 優秀賞3編 表彰状及び副賞 図書カード5万円
- 結果発表および表彰式：平成29年1月13日（金） 大賞候補者へは事前に連絡しますので必ず出席してください。
- 受賞作品の公開：『東光原文学賞作品集』冊子 発行及び附属図書館ホームページで公開します。
問い合わせ先：熊本大学附属図書館（担当：教育研究支援部図書館課 浜崎）
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 Tel：096-342-2212 / E-mail：soumu@lib.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学附属図書館報

東光原 NewsLetter



附属図書館公認キャラクター「くまぼん」

第九回 東光原 文学賞



受賞作品は本になります!

締切 平成28年11月7日(月)



詳しくは図書館HPへ!
<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/>

賞品
大賞1編
表彰状 副賞図書カード20万円
優秀賞3編
表彰状 副賞図書カード5万円

募集要項を4頁に掲載

特集「平成28年熊本地震 図書館の記録」2p→

特集 平成28年熊本地震 図書館の記録

- 4月14日(木) 21時26分 前震発生 中央館は開館中で100人程の利用者があったが人的被害はなし。
- 4月15日(金) 全館休館し、施設・設備点検後、再配架作業完了。
- 4月16日(土) 1時25分 本震発生 全館休館中のため人的被害はなし。
- 4月18日(月) 落下図書が中央館・分館あわせて約12万冊。
余震に注意しつつ再配架作業開始。

- <中央館> 5月 2日(月) 1階ラーニングcommons再開
5月10日(火) 2階閲覧室・PCルーム再開
5月23日(月) 地下書庫再開 開館時間延長
6月 1日(水) 通常開館
- <医学系分館> 5月10日(火) 2階閲覧室・グループ学習室・PCコーナー再開
6月 1日(水) 1階閲覧室・2階雑誌再開 開館時間延長
6月20日(月) 通常開館
- <薬学部分館> 5月 9日(月) 通常開館

前震後 (4月14日)



資料落下 翌日中に再配架が終了し、一安心したのですが・・・

中央館 2階

本震後 (4月16日)



資料大量落下 中央館 2階



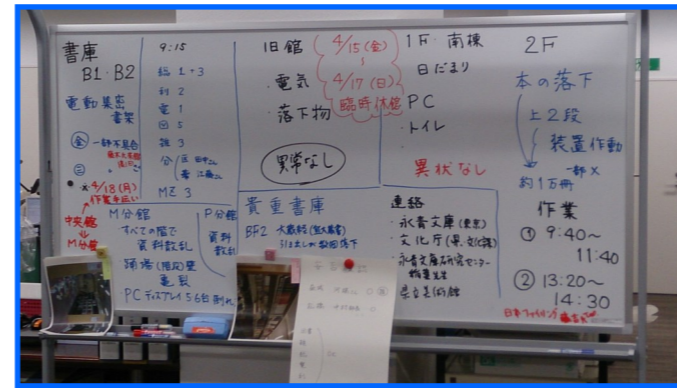
書架4台が倒壊。危険なため手が付けられない状態が続きました。 医学系分館 1階



資料落下 薬学部分館 2階



中央館事務室



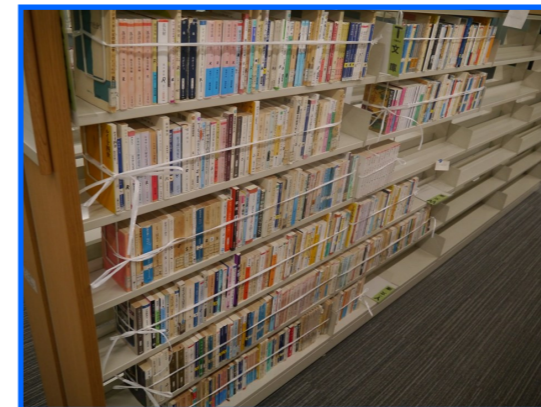
被害状況の一覧を書いたホワイトボード(4月15日 18:14)

本震後に対策チームを設置し、状況の確認及び復旧作業を開始しました。

復旧作業



中央館 2階 文庫・新書落下(4月16日 13:28) 約1万冊の全てが落ちました。



書架に再配架し、余震に備えて紐をかけました。3週間はこのままでした。

(4月20日 16:08)



分類番号順に並べ、再配架の準備をしていきます。

(4月20日 10:17)

落下して、破損した図書もあり修理が必要でした。

南棟や地下書庫でも復旧作業が必要でした。

余震の続く中、早くみんなに勉強の場をと毎日作業が続きました。

安全のためヘルメットを購入しました。



大型図書落下 1冊が重いので注意しながら作業しました。(4月16日) 中央館 2階



順番に積上げました。大型図書は落下を警戒ししばらくこのままでした。(4月19日)